

編集後記

今月号の特集「整形外科領域における AI の進歩」は、まさに時宜を得た内容です。私たち整形外科医にとって、AI はかつて“遠い星”のような存在でした。しかしここ数年で、その星は急速に下界に降りてきて、日常診療の現場に溶け込みつつあります。以前は AI を使うといっても、診断支援ソフトや自動翻訳、音声カルテ入力など、どれも精度や信頼性に欠け、結局は人の手で修正が必要な“使えない AI”が多かったように思います。けれども、生成 AI の登場はその状況を劇的に変えました。言葉を理解し、文脈を踏まえ、実用レベルで助けとなる AI が現れたのです。

本特集は中原龍一先生にご企画いただき、整形外科領域における様々な場面での AI の最新動向について解説をいただきました。AI は、X 線や CT 画像から骨密度や筋量を高精度に推定し、従来では見逃されていた全身状態の把握を可能としています。また、姿勢推定 AI や超音波画像解析の応用によって、投球肘障害の早期診断や末梢神経の同定が標準化され、教育現場やスポーツ医療にも広がりつつあります。さらに、ウェアラブルデバイスや動画解析を組み合わせた歩行解析 AI は、リハビリテーションや高齢者医療における客観的指標として注目されています。AI はもはや“研究室の技術”ではなく、現場で使われる「臨床の相棒」になりつつあります。一方で、AI を支える大規模言語モデル (LLM) や拡張現実 (XR) 技術も、整形外科に新たな変革をもたらしています。診断支援や書類作成の効率化のみならず、仮想空間を用いた手術ト

レーニングや患者教育も現実味を帯び、日本発の LLM や半導体技術が世界で存在感を示し始めています。こうした潮流は、単なる技術革新にとどまらず、「人間と AI の協働」による新しい医療の形を模索する動きともいえるでしょう。

もっとも、技術の進歩は私たちの理解を待ってはくれません。AI がもたらす変化のスピードは、まさに「考えるより先に動いている」と感じるほどです。理解が追いつかなくても世の中は進む——それが現代の技術革新の姿なのでしょう。しかし、この「わからないまま便利になる」構図は、教育の観点からみると決して良いことばかりではありません。基礎を飛ばして結論にたどり着けてしまうことは、一見効率的ですが、原理や本質を理解する機会を奪ってしまう危険性さえあります。

AI はたしかに、一足飛びに答へ導いてくれる強力なツールです。しかし、その答をどう評価し、どう活かすかについては、やはり人間にしかできません。AI は敵でも味方でもなく、私たちの医療を支える新しい「道具」であり、その力を正しく理解し、臨床・教育・研究の場で賢く活用することこそ、次の世代の整形外科を切り拓く鍵となるはずです。最近、米国野球殿堂入りを果たしたイチロー選手が語った「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」という言葉は、AI 時代においてもなお真理であり続けるのだと考えています。

(谷口 昇)

「整形・災害外科」第 68 巻 第 12 号 (11 月号) 2025 年 11 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行) 定価 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%) 年間購読料金 定価 47,960 円 (本体 43,600 円 + 税 10%) 〔年間 13 冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036
---	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。